

2008年4月 日本人材ニュース

## 効果的な内定者フォロー「懇親会」「SNS」「内定式」が主流に —— ガイアックス調べ

ガイアックス（東京都渋谷区、上田祐司代表執行役社長）と、慶応大学SFC研究所キャリア・リソース・ラボ（花田光世代表）は、内定者フォローに関する共同調査を実施、結果を発表した。

同調査は、同社が提供する内定辞退抑止のための内定者向けSNS「フレックス」を利用する企業の採用担当者23人と内定者609人を対象に実施したもの。

売り手市場の顕在化で、学生1人あたりの内定保有数は増加の一途をたどって

いる。必然的に内定辞退者数が増加する中、企業の採用担当者とそのツールとして内定者SNSを導入した主な理由について聞いた。

「内定者間の関係構築」「入社辞退率の低減」「モチベーションの維持」と回答しているほか、課題の進捗・提出など、業務効率改善を目的として導入している企業もあった。

結果として「内定者同士の交流機会の創出」、「入社に対する期待の高まり」、「会社についての理解が深まった」という点に

ついて効果を上げているという。費用対効果については、60.8%が効果が高いと回答している。

採用担当者の内定者フォローにかかる負担については、56.5%が軽減したと回答しているが、システム管理等で負担増と感じる担当者も3割に上った。

一方、SNSを利用する内定者に対して、企業の内定者フォローに求めることについて聞いたところ、社会人として基礎的な能力の向上と内定者同士・先輩社員とのコミュニケーションの機会の創出がもっとも多

く挙げられた。そうした声に対し、最も効果的だったと感じた取り組みは「懇親会」で、次いで「SNS」「内定式」となっている。内定者SNSについては内定者同士の交流に役立ったという回答が多数だった。

こうした効果については採用担当者の回答とほぼ同様の結果となっている。

入社後も内定者SNSを継続してほしいとの問いに対して、78.8%が希望すると回答した。また、47.8%がSNSの期間を設けずに継続利用したいと回答している。問い合わせ先=TEL:03-5464-0378